

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学 図書館報

vol. **57**

2023年6月30日
【編集・発行】
神戸市外国語大学
図書館



AD ALTIORA SEMPER (アド・アルティオラ・センペル) とは
ラテン語で「常により高きを求めて」という意味です



巻頭言 人を選ぶこと—試験雑話— ... P.1

P.3 著書紹介

P.5 コロナ禍におけるサービスの
一部制限を撤廃しました

P.6 蔵書点検（春期）を実施
しました
ほか

人を選ぶこと—試験雑話—

中国学科 教授 紺野 達也

現代の日本において、人はその一生の中で何度も試験を受ける。受験の機会は総じて若い時期に偏るが、資格試験のようなものは中高年になっても受験可能である。一方、筆者自身は教員になって(正確には学部学生の時塾講師のアルバイトをしていた頃)からは他者に試験を課すようにもなった。このように試験を課す側に立つことも、それぞれの人生のなかで起きるのである。

人が同じ人である他者を試すという行為は人類の歴史においていつ始まったのか。世界各地の諸民族に存在する通過儀礼を考慮すれば、文字が発明される前には生まれていたのだろう。こういった通過儀礼は多くの場合、被験者の能力を確かめるものだと思われ、大学の講義における試験や小テスト、資格試験などもおおむねこれに属している。これに対し、入試や就職試験などは人を選ぶことがその目的の一つである。ただ、能力を試す試験と人を選抜する試験は無関係ではないことはいままでもない。

どちらの試験にせよ、現代においては、通常、厳格な管理・運用が行われている。たとえば、入試では、受験番号のみ記し、氏名は書かないように注意されることもある。これは試験の公平性を保つための措置である。

そして、それ以上に管理の厳しい試験がかつて存在した。それが中国の中世から近世にかけて、巨大な中華帝国の人材確保のために実施された科挙である。特に宋代以降、答案の氏名などの部分に紙を貼り、記号を記して誰の答案かわからなくする「封彌」(糊名)、採点者が筆蹟から受験者を識別することを困難にするため、「封彌」をした答案を全部書き写す「謄録」、さらにはそれを校正するための「対読」が行われていた。

ところが、唐代の科挙は様相が異なる。主任試験官である知貢挙や官界の有力者に対し、受験生が予め自

らの詩文を送る「投卷」や「温卷」(「投卷」した数日後に詩文を送るため、懷に温めておいた作品ということなのだろうか)などが行われた。さらに本試験である礼部試だけではなく、地方で実施された予備試験(府や州で実施されたものを府州試という)でも似たような事態が発生している。南宋の范成大『呉郡志』卷四十八は次のような記事を引く(もとは中国古典語(文言文)だが、ここでは訓読を示し、大意を付す)。

白樂天出でて蘇州に守たり、科場將に開かんとし、^{まさ}て、^{ほうかん}方干来たりて^{かいとう}解頭を求め、而して^{ちようこたま}張祐適たま至る。^{いくぼ}何くも無くして、二人は席上に言語喧争し、是に由りて二人俱に解頭を得ずして去る。

(白樂天が洛陽から蘇州に移り、その長官となった。科挙の予備試験が開かれようとしたところ、方干がやってきて「解頭」(予備試験の首席及第)を求め、そこにちょうど張祐がやってきた。すぐに二人は席上(おそらく宴席だろう)で言い争いをし、そのため二人とも「解頭」を得られなかった。)

白樂天は中唐の詩人白居易を指し、長恨歌の作者としてもよく知られる。つまり方干や張祐(彼等もまた詩人である)は当時文名の高かった白居易に対し、試験前に自分を売り込みに来ていた。これらの事前運動は、突きつめれば科挙及第を目指すための行為に他ならない。そして、我々(あるいは宋代以降の人々)の常識からすれば異様とも映るこういった事前運動が唐代には公然と許されていた、あるいは大きな問題だともまでは認識されていなかったのである。

ただ、唐代と宋代以降の科挙にはこのような大きな違いがあったにせよ、人を選ぶことが如何に困難か、何を基準にして人を選べば良いのかという大きな課題が存在していたことは共通している。その課題を前

にして、唐代の科挙は事前に受験生と親しく交流することを認めてその人品や教養を総合的に見ようとしたのであり、宋代以降の科挙は学力を公平に測ることに大きな比重を置いたのである。この課題は現代でも変わらない。本学の入試について言えば、もちろん公正ではあるものの、一方で多様な入試を実施しており、それは「受験生のさまざまな関心や資質、あるいは背景や経験を考慮」¹しているからである。ここからも試験によって人を選ぶことの難しさが見て取れるのではない。

科挙が始まってから千二百年以上経過した今日、AI技術の急速な進展を迎えている。もしかすると最後までAIのみで人を選ぶ試験がすでに行われているのかもしれない。それでは、AIは上に述べた課題をどのよ

うに処理するのだろうか。試験の公平性はおそらく担保できるだろう。また数値で表せるものについては、別々の項目であっても、数値をより正確に別の数値に換算することで、客観的に比較できるようになるだろう。しかし、数値で表せないものはどうすれば良いのか、数値で表せるものと表せないもののどちらを上位に置くのか、こういったことへの苦悩や判断はまだ人間にしかできないのではないか。そのようなことを思うと、科挙を始めとした試験の歩みを振り返ることは無意味ではないのかもしれない。

¹ 神戸市外国語大学学生支援・教育グループ「2023年度入学選抜実施要項」, p.2. 公立大学法人神戸市外国語大学, <https://www.kobe-cufs.ac.jp/admissions/university/requirements/senbatsu.html> (閲覧 2023年5月17日).

■ 文中紹介著者作品および科挙に関する主要参考文献(図書館所蔵)

● 范成大

[日] 『呉船録;攬轡録;駘鸞録』小川環樹訳(請求記号:N080=2=696)

[中] 『呉郡志:附校勘記』(1~6巻)范成大著(請求記号:叢部=1=4-3147~3152)

● 白居易

[日] 『白楽天詩選』(上・下巻)川合康三訳注(請求記号:N080=13=44-1~2)

[中] 『白居易集箋校』(1~6巻)朱金城箋校(請求記号:集部=2=414-1~6)

<電子書籍>

[日] 『白氏文集』(1~12巻)岡村繁著(明治書院 新釈漢文大系;第97巻~第108巻)

● 張祜

[中] 『張祜詩集校注』(上・下巻)尹占華校注(請求記号:集部=2=745-1~2)

● 科挙

[日] 『科挙:中国の試験地獄』宮崎市定著(請求記号:N081=14=15)

[日] 『科挙の話:試験制度と文人官僚』村上哲見著(請求記号:N080=21=1426)

[日] 紺野達也「詩人たちの就職活動—科挙・恩蔭・献賦出身」(『杜甫と玄宗皇帝の時代』松原朗編)(請求記号:N302.2=52=220)

[日] 紺野達也「唐代における府州試と詩歌」(『東亞漢學研究』15 高麗大漢字漢文研究所)(請求記号:N222==33)

[中] 『唐代科挙与文学』傅璇琮著(請求記号:92025=C=52)

■注記 []内は使用言語を指す。 <電子書籍>は本学関係者に限りオンラインで閲覧可能。



ロシア絵本の翻訳出版

ロシア学科准教授

藤原潤子 (ふじわら じゅんこ)

残念なことに近年、かつてに比べて日本でのロシア絵本の翻訳が減っています。新世代の絵本作家をもう少し紹介できないか…そう思って訳したのが、この三冊の絵本です。

『パパかいぞくのこもりうた』は、夜になってもぜんぜん寝る気のないチビ海賊のお話です。やさしいパパ海賊が子守歌を歌って寝かせようとしますが、歌詞からどんどん空想がふくらんで、チビ海賊はますます大興奮！ 一体、いつになったら眠るのでしょうか？ パパと子どもの攻防が楽しい一冊です。

『ちいさいおふねのぼうけん』は、海に行っても本物の船になろうと心に決めた、小さな紙のおふねの話です。いろんな船に出会いながら旅を続けるおふねは、無事に海にたどりつけるのでしょうか？ 未知の世界に一步を踏み出す勇気をくれる一冊です。

『そらにかえったにゅうどうぐも』は、雲を紡いでセーターを作ることを思いついた、ひとりの男の子のお話。ふわふわで温かいセーターができて、男の子は大喜びしますが、思いがけず困ったことが起きます。地球温暖化をはじめとする、人間による環境破壊についての寓話的作品です。

これまで私に関わってきた学術出版と比べて、これら三冊の出版までの道のりは非常に困難でした。その理由は、絵本はフルカラーのために印刷にお金がかかること、しかし研究助成金は使えないため、市場で「売れる本」であることを求められること、しかし絵本市場は古典的な名作がほとんどを占めており、日本でほぼ無名のロシア人作家の本の売り上げはあまり期待できないこと、そしてスマホなどの普及により、そもそも本が売れなくなっていることです。

持ち込んで断られてを繰り返した後に、

『パパかいぞくのこもりうた』

アントン・ロマーエフ作；
藤原潤子訳
成山堂書店、2022.6発行

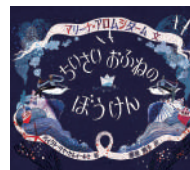
図書館所蔵：N909==353



『ちいさいおふねのぼうけん』

マリーナ・アロムシターム文；
ヴィクトーリヤ・セムィーキナ絵；
藤原潤子訳
成山堂書店、2022.7発行

図書館所蔵：N909==355



『そらにかえったにゅうどうぐも』

レオニート・チシコフ作；
藤原潤子訳
成山堂書店、2022.6発行

図書館所蔵：N909==352



幸運にも版元が決まりました。ところが、著作権交渉をクリアして、さあ、印刷に向けた準備と思ったところで、ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まりました。ロシアと関わるすべてを否定または攻撃し、関係を断絶しようとする動きが起こったため、この本はもう出ないのではないかとずいぶん心配しました。しかし、ロシアにもすべての子どもたちの幸せと平和を心から願っている人がいる、ということ伝えるためにも、今こそ出したい、という願いが叶い、無事出版することができました。

現在、ロシアとウクライナについては毎日あまりにも悲しいニュースばかりで、日露関係も冷え込んでいます。しかし戦争が終わり、ふたたび日露交流が活性化する日が来ることを願って、今後もささやかながら、絵本を通してロシア文化の良い部分を伝えていけたらと考えています。そのために今は、ひとり出版社を作って自由に翻訳出版することを画策しつつ、宝探しをするような気分で、毎日、名作を探しています。

展示紹介（2022年7月～2023年1月）

特別展示

きたむらさとし客員教授特別授業
「三題噺でおはなしをつくろう！」関連展示



期間 2022年7月5日～10月21日

8月5日に開催されたきたむらさとし客員教授の特別授業に伴い、きたむらさとし客員教授の作品を展示しました。

特別展示

本と映画で学ぶSDGs



期間 2022年9月16日～

2022年8月に策定された「神戸市外国語大学SDGs宣言」に伴い、SDGs全般に関する解説書を中心に展示しました。また、個別目標への理解を深めるドキュメンタリー映画もあわせて紹介しました。

特別展示

柴田元幸客員教授 × きたむらさとし
客員教授講演会
「名訳・迷訳一翻訳のたのしみ」関連展示



期間 2022年9月26日～11月4日

10月21日に開催された柴田元幸客員教授ときたむらさとし客員教授の講演会に伴い、両客員教授の作品を展示しました。

特別展示

ヤングケアラーと子どもの人権



期間 2023年1月19日～

「ヤングケアラー」という存在について理解を深め、子どもの人権について考えるうえで一助となる資料を展示しました。

コロナ禍におけるサービスの一部制限を撤廃しました

これまで図書館では、新型コロナウイルス感染のリスク軽減のため、状況に応じて様々な対策をとってきました。その一部は、利用される方へのサービスを制限するものとなっていましたが、5月に本学の新型コロナウイルス感染症に対する活動指針のレベルが「ゼロ(通常)」に引き下げられたことに伴い、これらを撤廃しました。*1*2

ラーニングcommonsのグループワークエリアでは、以下の機能を回復させます。

- ・会話しながらのグループ学習
- ・テーブル・椅子等什器の移動

また、閲覧室で間引いていた席を元の席数に回復させます。

座席があいていれば、予約不要でいつでもグループでのご利用が可能です。電子黒板等の機器を使った活動

や、多人数でのご利用には事前のご予約をおすすめします。

ながらくご不便をおかけいたしました。また、ご協力いただきありがとうございました。

最後に、図書館には、パソコン等多くの人が共用で使用するものが設置されています。こうした共用物について、使用の前後に手を洗うことは、新型コロナウイルスの状況に関わらず、日々を健康に過ごすのに有益です。引き続き、習慣とすることを心がけていただければと思います。

*1 換気や消毒用アルコールの設置等、基本的な感染対策は引き続き実施します。

*2 他大学図書館の訪問利用等、当館以外の利用条件が関わるサービスについては異なる場合があります。

ラーニングアドバイザー(LA) 対面相談再開のお知らせ

当館大学院生スタッフ「ラーニングアドバイザー(LA)」が学習相談に応じるサービスは、2022年度中は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンライン(Zoom)でのみ実施していましたが、このたび2023年度前期より対面での実施を再開しました。

レポートや論文の書き方などで相談したいことがありましたら、お気軽にご相談ください。詳しくは当館公式ウェブサイトをご覧ください。



新規オンラインリソース導入 のお知らせ

当館では、2023年4月1日からアグリゲータ系ジャーナルデータベース「Gale Academic OneFile」および「Gale General OneFile」を導入しました。

<データベース概要>

●Gale Academic OneFile

学術誌を中心とする雑誌約17,700誌、新聞・報告書・事典・ビデオ等、雑誌以外の資料約2,300タイトル、総計約20,000タイトルを収録するアグリゲータ系ジャーナルデータベース。学術誌中心で査読誌が多い。

●Gale General OneFile

一般誌を中心とする雑誌約10,400誌、新聞・報告書・事典・ビデオ等、雑誌以外の資料3,700タイトル、総計約14,100タイトルを収録するアグリゲータ系ジャーナルデータベース。一般紙が中心となり、統計・大衆紙・業界紙が多い。

蔵書点検（春季）を実施しました



点検作業の様子

(※) 点検件数内訳

書庫1階：124,183冊

書庫3階：43,792冊

合計：167,975冊

2023年3月23日から31日まで春季の蔵書点検を実施しました。

蔵書点検とは、図書館で所蔵している図書があるべき場所に収められているかどうかを確認し、行方不明のものがないか点検する作業のことをいいます。すべての書架を順に見ていくのですが、もれなく確認するには棚の中で図書が移動しないようにしておく必要があります。このため、図書の貸出・返却をストップし、作業にかかる期間を閉館としています。作業時期は、図書館利用への影響を出来る限りおさえるために、利用の少ない長期休業期間（夏季・春季）を選んでいきます。

今回は、合計167,975冊(※)の図書を点検しました。また、今回は書庫1階に配架されている一部の図書のクリーニングも併せて実施しました。



クリーニング中の図書

つながれ読書のバトン

『手紙屋』〜僕の就職活動を変えた十通の手紙〜

喜多川泰著

この物語の主人公は、就職活動に出遅れ将来に思い悩む大学4年生。ある日いつも通っていた書齋カフェで、不思議な手紙屋の広告が目にとまり、手紙屋との文通を始める。手紙屋との十通の手紙のやりとりを通して、人生において大切なことを教

えてくれる物語。作者からの温かいメッセージに心打たれる。今、やりたいことが見つからない、自分が何に向いているのかわからないと感じている人、未来への向き合い方を教えてくれる一冊。

第六走者 I

「つながれ読書のバトン」投稿募集!

2000字以内であなたのお気に入りの本を紹介してください。メールで氏名またはペンネーム・紹介資料書名・著者名を明記し、下記の宛先まで。学生、教員、職員など利用区分に関係なくどなたでもご応募いただけます。

応募先

library@office.kobe-cufs.ac.jp

注意事項

- 氏名またはペンネームを掲載させていただきます。
- 外大図書館に所蔵がないものも応募できます。
- 漫画・雑誌等はお遠慮ください。

図書館日誌《2023年1月～2023年6月》

2023年	1.22	日曜開館日（後期定期試験期間のための臨時開館）
	1.29	日曜開館日（後期定期試験期間のための臨時開館）
	3.23-31	蔵書点検
	4.1	芝勝徳図書館長が公立大学協会図書館協議会会長に就任
	4.3	コロナ禍における館内設備利用・サービスの一部制限を撤廃
	4.10	ラーニングアドバイザー（LA）による学習相談を対面で再開
	4.12	JLP オリエンテーション
	5.18	ラーニングコモンズ機能回復
	6.6-7	トライやるウィーク（1校2名受入）

		AD ALTIORA SEMPER vol.57 神戸市外国語大学図書館報 第57号
ISSN		0919-2336
編集・発行		神戸市外国語大学図書館
		〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
		TEL : 078-794-8151 / FAX : 078-797-2257
		URL : https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/
発行日		2023年6月30日
発行責任者		図書館長 芝 勝徳